



朝夕は冷え込みますが、お昼はぽかぽか陽気です。子どもたちは元気に園庭遊びを楽しむことができました。

思い返せばあっという間の1年でしたが、成長した子どもたちの姿がより一層頼もしく感じます。



☆交流給食ではうさぎ組の部屋で給食を食べました。いつもと違う慣れない雰囲気少し緊張気味でしたが、「あっ電車や！」「車いっぱいや」といつもとは違う景色を楽しむことができました。「次はうさぎ組になるんだよ」と伝えると、「うさぎ組になる！！」

「やったー」と進級を楽しみにしながら食べることができました。トイレや、ロッカー、手洗い場など、りす組とは違うところがたくさんあり、目をキラキラさせていました。☆生活の中で、自分の思いを言葉で伝えられるようになってきました。ブロックを組み合わせて「これ消毒やで、手出して、シュッ！」「これは電話なの」と色々な物に見立て見せたり、保育教諭が「絵本何にしようか」と聞くと、「これがいいっ！」と本棚の絵本を持って来てくれたり、お友だちとのやり取りも増え、「見て！！顔書いたんやで」「これ貸して」「いいよ」「一緒に行こう」と今まで以上に関わりがもてるようになってきています。

☆後半から進級に向けて、リュックの中に箸箱、水筒を片付けるようにし、トイレでの排泄を促してきました。リュックへの片づけはスムーズにできるようになり、今では着替えのパジャマを出して自分で広げて着替えようとしています。排泄は毎回同じ時に行くようにし、排尿、排便の感覚が身についてきたお友だちも多くなりました。

「うんこ出そう」「あっおしっこ出ちゃった」とすぐに教えてくれるようになり、トイレでの排泄が習慣づいてきました。

エピソード記録

部屋で遊んでいる時のことです。

Aちゃんが転んで泣いてしまい、涙と鼻水がでていました。それに気づいたBちゃん。



Bちゃん・・・ティッシュペーパーを手に持ってAちゃんにかけより、鼻水と涙をふいてあげました。

Aちゃん・・・「ありがとう」

Bちゃん・・・うんうんとうなづき、Aちゃんの頭を撫でていました。

この2人のやりとりから助け合おうとする優しさの育ちがわかります。お友だちが泣いている姿に優しく接するBちゃんの姿や、お友だちが助けてくれたことに「ありがとう」と感謝の気持ちを素直に伝えることができたAちゃんの姿に成長を感じました。



担任より

1年前はまだまだ大人が目や手がたくさん必要だった子どもたちでした。今ではスプーンやフォークを使って上手に給食やおやつを食べられるようになったり、お友だちに微笑みかけたり、声をかけて一緒に遊ぼうとしたり、自分だけの世界から周りへと世界を広げています。

保護者の皆様にはこの1年温かく見守って頂き、また至らぬ点もあったかと思いますが、日々の保育にご理解ご協力頂き、ありがとうございました。子どもたちの大きな成長を皆様と見守ることができたこと、嬉しく思っています。子どもたちの益々の成長をお祈り申し上げます。
橋本 晃子・池田 妙子



4月からはうさぎ組です。

持ち物は今と変わりませんが、この機会に持ち物の名前が消えていないか確認をお願いいたします。

新年度用品(クレヨン、粘土、粘土板、粘土ペラ、粘土箱、自由画帳)は1つずつ、クレヨンは1本ずつに名前を書いてください。